

地方経済情報 Weekly No.331

「緑の流域治水」を学ぶ共創拠点 ～肥後銀行人吉支店1階に開設～

1. 「緑の流域治水」プロジェクトの現地拠点

令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域の持続的な発展を目指す産官学共同プロジェクト「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」※1の共創拠点が、肥後銀行人吉支店の1階に開設されました。

昨年11月に発足した同プロジェクトは、流域全体を対象にハード面だけでなく、生物多様性を高める環境再生や、地域産業の振興などソフト面での治水対策を充実させる「緑の流域治水」を中心とした10年間の取組です。熊本県立大学や熊本県、肥後銀行、当研究所など20を超える企業・団体が、参加しています。

2. オープニングセレモニー&座談会

共創拠点は、緑の流域治水に関する情報発信、関係者らの情報交流の場として活用するために設置されています。5月のオープニングセレモニーでは、地元旅館の女将や人吉球磨観光地域づくり協議会の関係者を招いた座談会が開催されました。当日は当研究所から、緑の流域治水の“学び”を目的とした「緑の流域治水スタディツアー」を提案しました(写真)。

3. 緑の流域治水を学ぶ「スタディツアー」

スタディツアーは、緑の流域治水の思想と手法を実体験から学び、地域に経済効果を創出するツアーです。学習目標に合わせて単元を組み立てる専門性が高い行程を想定しており、通常の視察との差別化を図っています。県内外の議員や行政職員、土木系技術者、社会人、学生などをターゲットとし、将来的にはインバウンドも受け入れる予定です。

「緑の流域治水プロジェクト」に関心のある方は、ぜひ下記ホームページをご覧ください。

【熊本県立大学 緑の流域治水研究室】

https://www.pu-kumamoto.ac.jp/planning_flood-control/

緑の流域治水プロジェクト



※1 JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)から令和3年度に採択を受けた「共創の場形成支援プログラム」(地域共創分野・本格型)



(写真) 「緑の流域治水スタディツアー」の座談会
(肥後銀行人吉支店1階の共創拠点)

担当: 事業連携部 兼 研究開発部長 宮野